

# 第31回海洋開発シンポジウム

## 2006年7月12日[水]－13日[木]

1. 主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
2. 開催期日：2006年7月12日（水）～13日（木）
3. 会場：ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）  
（大津市におの浜1-1-20 電話：077-527-3315、  
<http://www.piazza-omi.jp/>）
4. 参加方法：参加無料。自由参加。  
（事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい。）
5. 論文集：論文集（CD付）は、委員会ホームページにて事前販売いたします。  
購入希望の方は、事前購入をお願いします。  
価格：6,800円（税込、送料別）  
購入申込期限は、6月23日（金）17:00（厳守）  
論文集は、請求書類を同封して、6月下旬に発送いたします。
6. 発表時間：1論文17分（発表12分、討議5分）
7. 懇親会：（1）7月12日（水）18:00～20:00  
（2）ホテルピアザびわ湖  
（3）参加費：6000円
8. 見学会：（1）日時：7月12日（水）13:00～15:30  
（2）コース：旧瀬田洗堰、アーク琵琶（琵琶湖展示施設）  
（3）参加費：無料  
（4）定員：40名程度

- \*申込方法：懇親会、見学会とも7月12日（水）10:00～シンポジウム会場総合受付にてお申込みください。
9. シンポジウム関連イベント「海と湖の移動教室-琵琶湖保全と大阪湾再生-」  
講演会と船による現地見学会（参加費用は無料ですが、昼食代をご負担いただきます。）  
（1）日時：7月14日（金）10:00～16:00  
（2）申込方法：事前に委員会ホームページからお申込みください。  
（3）申込期限：7月7日（金）17:00まで  
（4）定員：60名

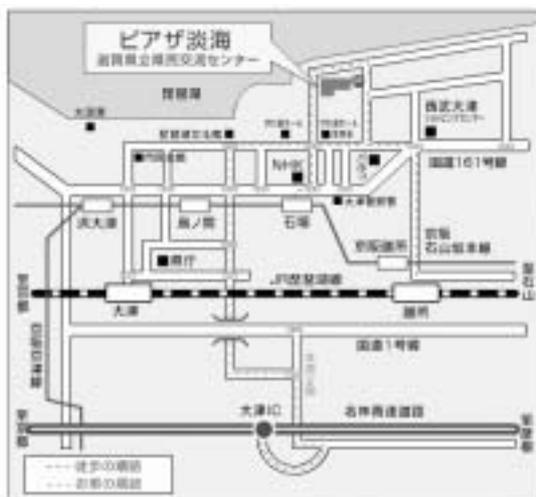
- \*プログラム等の詳細につきましては、土木学会海洋開発委員会のホームページをご覧ください  
（<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/ocean.htm>）  
\*本シンポジウムは、土木学会CPD（継続教育）プログラムとして認定されています。  
\*問合せ先 — 土木学会・研究事業課（担当：熊谷）  
TEL：03-3355-3559 メール：kuma@jsce.or.jp

### 1日目：7月12日

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00 - 9:10	開会挨拶				
9:15 - 10:40	観測	海洋の利用と計画	波の変形と流れ	水産(1)漁業・漁村の機能と安全	漂砂・海浜変形(1)
10:40 - 10:50	休憩				
10:50 - 12:15	潮汐・波浪	海洋の利用と防災	越波	水産(2)物流および漁場・漁港整備	漂砂・海浜変形(2)
12:15 - 13:25	昼食・休憩				
13:25 - 14:50	異常潮位・高潮・長周期波	海洋の利用と評価・管理	越波および波圧・波力	水産(3)水産とリサイクル	漂砂機構
14:50 - 15:00	休憩				
15:00 - 17:20	特別セッション1:沿岸防災—沿岸防災施設の アセットマネジメントの導入に向けた展望と課題—	特別セッション2:自然共生型事業— 順応的管理の実現に向けて			

### 2日目：7月13日

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:15 - 10:40	地震と構造物	干潟	構造物の設計・計算法	沿岸域の環境(1)	侵食対策
10:40 - 10:50	休憩				
10:50 - 12:15	津波(1)	干潟・藻場	防波堤・消波構造物	沿岸域の環境(2)	地形および海浜流
12:15 - 13:25	昼食・休憩				
13:25 - 14:50	津波(2)	構造物と生物	海底地盤	エネルギー・浮体	施工技術
14:50 - 15:00	休憩				
15:00 - 16:25	津波(3)		構造物の安定性と洗掘	風力発電	氷・氷海域と油汚染
16:25 - 16:30	閉会挨拶				



### 交通アクセス

- ・JR琵琶湖線大津駅から京阪・近江バス  
なぎさ公園線8分（ピアザ淡海）下車
- ・JR膳所駅から徒歩12分
- ・京阪電車石場駅から徒歩約5分